

常光沢・人道橋の安全対策を！



質問者
田代 実 議員

常光沢に架かる人道橋が、令和元年12月27日に完成します。去る10月19日、城山地域での「まちづくり座談会」で事故防止対策に関する意見がありましたので、次の3点について町長のお考えをお伺いします。

(1) 人道橋と接道する町道は、南に向かい下り坂なので車両の加速による交通事故が懸念されます。横断歩道やカーブミラーの整備、スピード抑制のための路面改修などの安全対策は。

(2) 旧砂利線々路敷地が、歩行者専用の散策路として利用できます。自転車の走行は危険が伴いますので、規制についてのお考えは。

自転車から降りての利用を！

A



回答（町長）

12月27日完成としていたが、施工業者には台風19号の復旧工事を優先したため、橋梁工事の完成予定を2月末日に変更して進めている。

(1) 横断歩道の設置は県公安委員会での交通規制となるので、協議に時間を要する。



工期が2月末日までになりました

町としては、橋梁の完成に合わせ交差点内の路面のカラー化、減速を促す。



質問者
平野 由里子 議員

町図書館と学校図書について

読書が心豊かに生きるために大切である事は、誰も疑わないでしょう。近年の研究では、本がたくさんある家庭で育つと、大人になつての読書書き能力だけでなく、数学的基礎、ITスキルが高くなるという結果が出まします。また年収が高い人は

す看板の設置、事故防止のための路面標示などの安全対策を行っていく。

(2) 歩行者を優先した散策路ということから、自転車から降りて利用する看板を設置して、注意喚起をしていく。

(3) 命名する橋の全体像が見えてくる1月下旬から、完成後の3月を目途に、広報やホームページで募集する。

読書が心豊かに生きるために大切である事は、誰も疑わないでしょう。近年の研究では、本がたくさんある家庭で育つと、大人になつての読書書き能力だけでなく、数学的基礎、ITスキルが高くなるという結果が出まします。また年収が高い人は

(1) 消費税増税となり実質的な図書購入費は目減りする事になりますが、対策は？

(2) 第2次松田町子ども読書推進計画の実践と効果の現状は？

(3) 町図書館と学校図書室の連携は？

住民の暮らしを守るために対応する

A



回答（教育長）

(1) より選書を工夫し、CDも含め蔵書の充実を図る。昨年度のふるさと納税の「未来をひろく人と文化を育むまちづくり」の用途指定に6・4%あり、図書館も含む教育費に充当している。雑誌の購読の寄付等も取り組む。

(2) 成長段階に応じ様々な取り組みをしている。

社会教育委員で家庭での読書活動の推進調査をしている。図書ボランティア養成、普及啓発等具体的方策はスタッフと相談する。

(3) 団体貸出や仕事体験学習等を実施している。学校司書の配置により、国が財政措置をしている分は交付税の需要額に算入されているが、実際の配置はしていない。

図書館は、先人が築いた文化を継承し、より良い社会を作るために、人材育成、課題解決、交流の場として重要であると考えている。



最近寄贈された図書